

# ホーチミン日本人補習校

Ho Chi Minh City Japanese Supplementary School

## 2024年度版 FAQ



ホーチミン日本人補習校

Ho Chi Minh City Japanese Supplementary School

【Tel】 093-430-1061

【E-mail】 [hcmchoshuko@gmail.com](mailto:hcmchoshuko@gmail.com)

【Web】 <https://jss-hcmc.asia/>

◆見学・編入学希望の方は、電話かEメールにて、事前に必ずご連絡ください◆

## ★補習校って何？

### Q:どんなことをやっていますか？

ホーチミン市及びその周辺に在住する日本人子女を主たる対象に、日本国憲法、教育基本法及び文部科学省学習指導要領を尊重した、初等普通教育、ならびに中等普通教育の補習授業を行うことを目的としています。

日本の検定教科書(日本国内と同じもの)を使用して、その児童・生徒の所属する学年の授業をしています。クラスによってはティーチングアシスタント(TA)をおいています。

### Q:どこが運営していますか？

ホーチミン日本人補習校は、1994年にInternational Grammar School(IGS)のサタデースクールとして発足した、日本政府の支援を受けている補習授業校です。

運営委員長・副委員長、保護者会代表、総領事館が議決権を持つホーチミン日本人補習校運営委員会が、運営にあっています。

### Q:教育目標は何ですか？

国際社会に生きる日本人としての自覚をもった、知性と徳性を備え、心身ともに健康で、人間性豊かな子どもの育成を図る。

- 自ら考え、学びとる子
- 出合いを大切にし、思いやりのある子
- 健康でがんばりのきく子

### Q:いつ授業をやっていますか？

土曜日の午前中(一部授業は午後)です。長期休暇などのスケジュールはお問い合わせください。

**Q: 授業はどこでやっていますか？**

ホーチミン市7区の、ホーチミン日本人学校の校舎を借りています。

**Q: 授業実施科目は何ですか？**

各学年で国語と算数・数学の授業を実施しています。

**Q: どんな生徒が対象ですか？**

原則、日本国籍を持ち、日本の学齢で小学校1年生から中学3年生(義務教育期間)の児童・生徒です。日本の学年は4月にスタートしますので、国際学校や現地校の学年と異なる場合がありますから、注意してください。

ホーチミン市内の国際学校・現地校に通学する日本人生徒を中心に、現在約130名在籍しています。

**Q: 授業は何語で行われますか？**

国語・算数(数学)とも、もちろん日本語で行います。

日頃は、英語やフランス語、ベトナム語など、さまざまな言語環境で育っている子どもたちですが、当校での共通言語は日本語です。日本語で思い切り語り合える場として、補習校での時間を大切にしたいと考えています。

**Q: 日本の学校らしい学校行事等がありますか？**

「体験学習」や「季節行事」など、積極的に行事を取り入れています。

体験学習の「書道」は、毎年、児童生徒たちがとても楽しみにしています。全員が筆を持ち(用具は学校にありますので、用意する必要はありません)、学年ごとに決めた文字を書き、優秀作品は表彰されます。

卒業式・入学式は、日本人学校の講堂の式典用装飾を借用し、日本的な雰囲気の中で行われます。

一年間の締めくくりとして、毎年3月に、学校デジタル文集「ほーちみん」を発行しています。

七夕祭りや、百人一首大会などのイベントを、授業のなかに取り入れているクラスもあります。

### Q: 授業レベルはどれくらいですか？

当校では国内用と同じ教科書を使い、国内用のペーパーテストなどを行いますので、「目標とする学力」も、「学習指導要領」に掲げられたものとなります。

とはいえ、日本の学校の児童生徒が1年間かけて学ぶことを、わずか年間40回程度で学ぶこととなりますので、教室学習だけでは上記目的の達成は困難と考えます。家庭学習は欠かせません。教師が準備する1週間分の宿題は確実にこなし、それでも学力が不足すると思われる場合は、適切な家庭でのフォローを行ってください。

### Q: 成績表はありますか？

学年末に、担任からひとりひとりに通知表をお渡ししています。

### Q: 懇談会や授業参観はありますか？

年に2回の授業参観やクラス懇談会を実施して、学校と保護者とのコミュニケーションを図っています。

## ★補習校に入るには？

### Q: 入学試験はありますか？

入学および編入学を希望するものは、全員を対象に、入学・編入学時点での日本語による日常会話力調査のための面接を実施します。日本語での学習が難しいと思われる場合、別途保護者面接を実施し、入学の可否を決定します。

新小1の場合、例年、2月半ばに新年度の学校説明会・入学面接を実施します。これらについての案内は、当校ホームページに掲載します。

小1以外や、年度途中の編入学の場合、補習校まで直接ご連絡いただき、まずは、学校見学にご来校ください。(次項参照)

### Q: 授業見学できますか？

もちろんできます。入学前に、「体験入学」の形で、実際のクラスに入って、その学年の授業を受けてみてください。

補習校の授業時間内(土曜日 午前中)にお越しください。授業準備の都合がありますので、事前に必ずご連絡をお願いします。

### Q: 日本の国籍を持っていませんが、入学できますか？

原則として、日本国籍のない児童・生徒は入学することが出来ません。

ただし、例外として、当該児童・生徒が、以前に長期間日本の初等・中等教育を受けており、保護者の所属先の企業が数年内の日本帰任予定を証明する場合、当該学年の授業に支障がない程度の日本語力を備えていることを条件に、ホーチミン日本人補習校運営委員会において審議の上、入学を許可する場合があります。

なお、念のために申し添えますと、当校は、海外で暮らす日本人の子供たちに、日本と同じ教科書を使用して補習を行うための学校であり、「日本語学校」ではありません。

### Q: 校舎は、平日に見学できますか？

校舎では、平日は、日本人学校の授業が行われています。日本人学校への入学を検討中なら別ですが、補習校入学目的での平日の見学はご遠慮ください。平日は、日本人学校に当校の教職員は常駐しておりませんので、補習校についての説明は出来ません。

### Q: 日本人学校に問い合わせれば、補習校のことがわかりますか？

ホーチミン日本人学校と、ホーチミン日本人補習校とは、まったく別の学校です。補習校は、土曜日だけ日本人学校の校舎を借りて授業をしており、平日は、日本人学校に当校の教職員はおりません。

平日の補習校への連絡は、電話かE-mailにてお願いします。

また、補習校のある日の欠席連絡等についても、日本人学校の事務室ではなく、クラス担任まで直接ご連絡ください。

## ★補習校での生活は？

### Q: 日本人学校体育館は利用できますか？

日本人学校が使用していない場合は、原則として毎週開放しています。

### Q: 図書室は利用できますか？

補習校生徒なら、閲覧と貸し出しが可能です。貸出期間は原則二週間で、2冊までです。

授業のある日の朝(8:30~9:00)と、中休み(10:20~10:40)、放課後(12:00~12:15)に、補習校保護者ボランティアが、図書室カウンターで図書の貸出管理を担当していただきます。

小1の新生生には、教師が図書館の利用について指導を行います。そのほかの学年の児童・生徒は、図書室カウンターで申し出て、貸出カードを作成してもらってください。

なお、ホーチミンでは、日本の書籍は容易に手に入らず、大変貴重なものです。延滞をしないように心がけてください。また、万が一、紛失・破損してしまった場合は、当該児童生徒の保護者責任での弁償となりますので、十分に注意してください。(次項参照)

### Q: 学校の備品などを破損・紛失した場合は？

過去にも、日本人学校の備品であるバスケットゴール、扇風機、鉛筆削りなどを破損したことがありました。

このような事件が度重なると、日本人学校の校舎を借用することができなくなることも考えられます。万が一そういう事態になると、私たちは授業をする場所がなくなり、図書室の日本の本も読めなくなります。

破損・紛失のあった場合、まず補習校校長が日本人学校へ謝罪を行います。保護者と児童・生徒本人にも、日本人学校へ直接謝罪に向いていただきます。

また、備品破損の場合は修理費を、紛失・全壊の場合は新規購入に要した金額を、日本人学校の指示する方法(現物・あるいは費用負担)、全額保護者に弁償していただきます。なお、ホーチミンで入手できない日本の書籍や教材などの場合は、輸送にかかる費用も弁償額に含まれます。

### Q: 傷病等への対応はどうなっていますか？

緊急の措置を要する病気・疾病が生じた場合は、学校の対应手続きに基づき対応します。就学時の連絡先には、確実に連絡が取れる電話番号を記入してください。

伝染性の病気にかかった場合は、出席停止となり登校させることは出来ません。再登校させる場合には、医師の証明書を持たせてください。

### Q:安全対策はどうなっていますか？

日本人学校では、24時間のセキュリティを実施しています。補習校の授業のある日にも、校内への立ち入りをする児童生徒、保護者、教師は、ホーチミン日本人学校長の発行する入校証を提示する必要があります。入校証は編入学時にお渡しします。

### Q:登下校のルールはありますか？

登下校は、保護者の責任において確実に行ってください。保護者以外の人に送迎を依頼する場合は、児童生徒が一人で校門付近で過ごすことのないようにしてください。確実に登下校時間を伝えてください。また、その時間帯は、保護者と携帯電話等で連絡をとれるようにしておいてください。

完全下校は12:15です。教師も下校します。

送迎の自家用車・タクシー等は、校門の前で乗車・下車してください。校門内への乗り入れはできません。また、スクールバスはありません。

### Q:登校時に必要なものは何ですか？

教科書、ノート(補習校でも購入可)、筆記用具、上履き、水筒(飲料水)など。

最近、携帯ゲーム機など、勉強に関係ないものを持ってくる生徒が増えており、一部クラスでは学習に支障が出ています。「勉強に関係ないものは持って行かない」を徹底してください。

また、お菓子類も持たせないでください。午後に社会科のある生徒の昼食以外は、校内での食事・お菓子は、全面禁止です。

### Q:欠席、遅刻、早退の場合は？

欠席・遅刻が事前に分かっている場合には、メールで担任に連絡してください。当日の欠席・遅刻の場合は、補習校事務までメール、または電話でご連絡ください。(093-430-1061)

また、欠席、早退などにより、宿題や連絡文を受け取れない場合は、兄弟や同じアパートや学校の友達など、「誰に渡せばいいか」を連絡してください。

Q:退学の場合はどうしたらいいですか？

転居、帰国等の理由によって退学を希望する場合は、時期が判明次第、遅くとも2週間前に担任に報告し、本校所定の「退学届」を提出してください。

Q:証明書は発行できますか？

一般に、補習校の場合、国内外への転校に関して証明書の類が必要になるケースは多くありませんが、希望により、「在学証明書」「一時編入依頼状」等を発行します。日程に余裕を持って、担任へご依頼ください。